



## レイヤ

レイヤとは	1
レイヤの作成方法	2
カレントの切替え方法	2
表示、非表示の切替え方法	3
編集可、編集不可の切替え方法	3
レイヤ間の移動方法	4
JWタイプレイヤ制御	4
レイヤのロック	4
プレビュー表示	5
レイヤ振り分けモード	5
グループレイヤの作成方法	6
他CADからの取込み、書出しについての注意点	7

## シート

シートとは	8
シートの作成方法	9
カレントの切替え方法	9
表示、非表示の切替え方法	9
編集可、編集不可の切替え方法	9
シートの選択方法	10
スケールの変更方法	10
移動・コピー方法	10
シート間の移動方法	11
シートのグループ登録	11
シートの表示状態登録、呼出	12
シート内のレイヤの扱い	13
他CADからの取込み、書出しについての注意点	14

## レイアウト

レイアウトとは	15
レイアウトの作成方法	16
ビューポートの作成方法	16
カレントの切替え方法	17
表示、非表示の切替え方法	17
スケールの変更方法	17
移動・コピー方法	18
他CADからの取込み、書出しについての注意点	19

## レイヤ

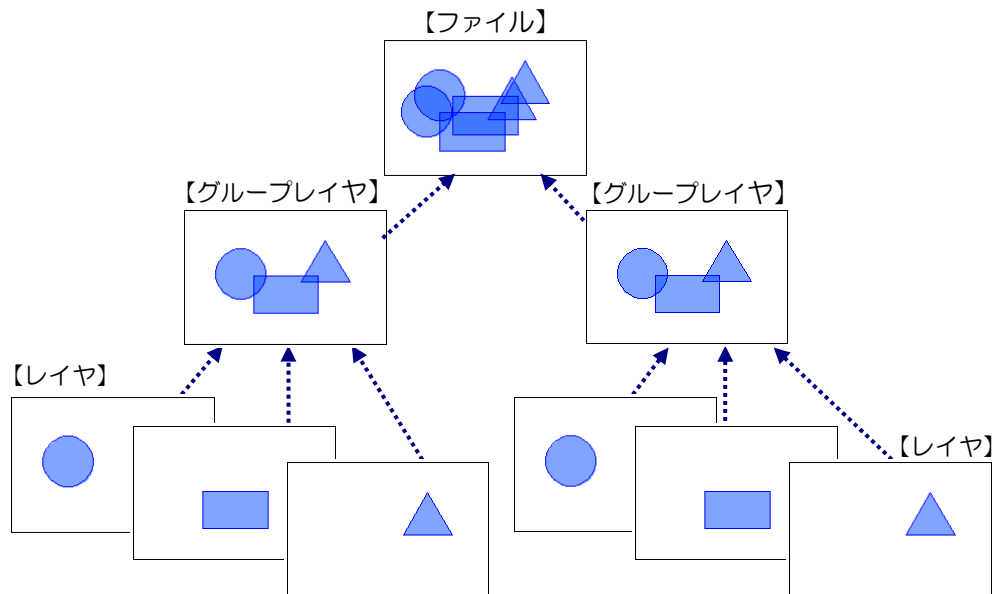
### ● レイヤとは ●

ファイルは、透明な紙を何枚も重ねて表示していると思ってください。

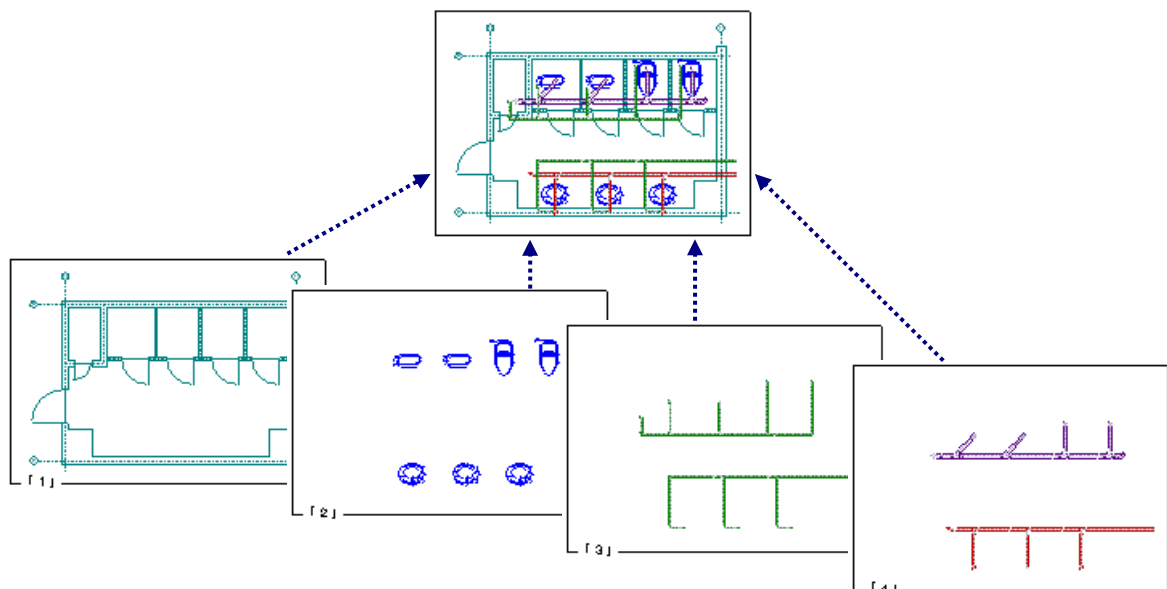
その一枚一枚の透明な紙をレイヤと考えます。

それぞれのレイヤに図形を作図して、レイヤごとの表示・非表示や編集可・編集不可の制御ができます。

また、複数のレイヤをグループとしてまとめ、グループレイヤごとの表示・非表示や編集可・編集不可の制御ができます。



例えば、建築図を「1」のレイヤ、機器を「2」のレイヤ、給水配管を「3」のレイヤ、汚水配管を「4」のレイヤとします。これをすべて重ねて表示しているのが、今の画面です。

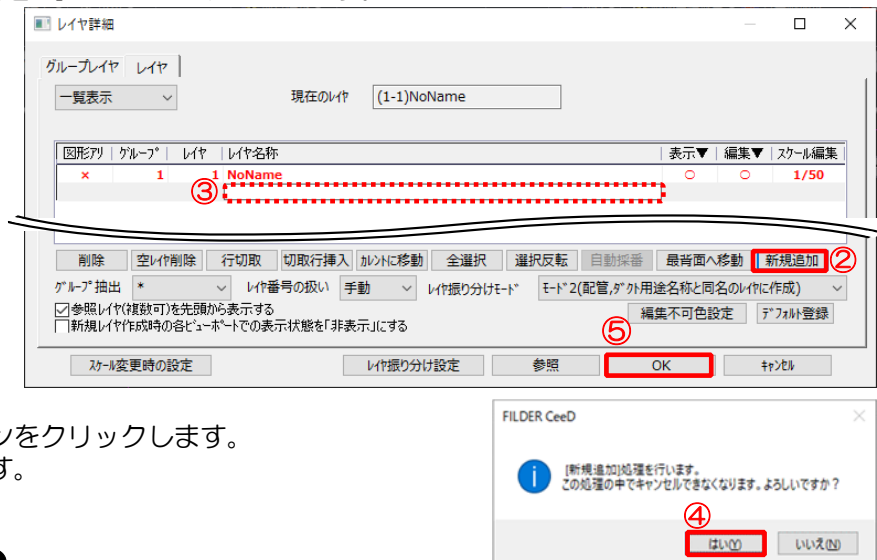


## ● レイヤの作成方法 ●

① [詳細]ボタンをクリックします。



② レイヤ詳細ダイアログの[新規追加]ボタンをクリックします。



③ レイヤ名称をキー入力します。

④ 確認ダイアログの[はい]ボタンをクリックします。

⑤ [OK]ボタンをクリックします。

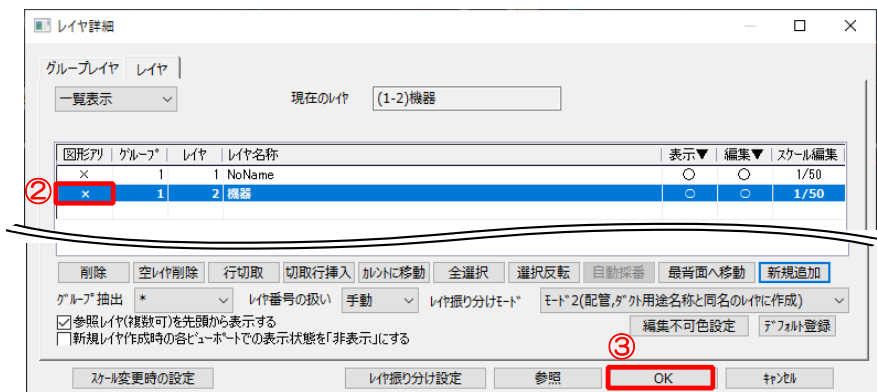
## ● カレントの切替え方法 ●

FILDER CeeD では書込みレイヤを“カレントレイヤ”と呼びます。

① [詳細]ボタンをクリックします。

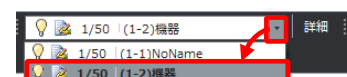


② カレントにするレイヤの「図形アリ」欄をクリックします。



③ [OK]ボタンをクリックします。

※ または、レイヤのプルダウンからレイヤ名を選択します。

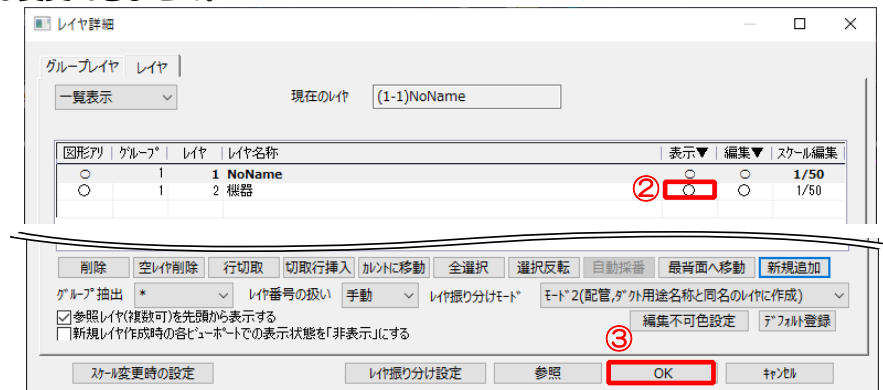


## ● 表示、非表示の切替え方法 ●

① 「詳細」ボタンをクリックします。

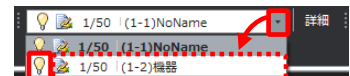


② 表示・非表示を切替るレイヤの「表示」欄をクリックします。  
(○は表示、×は非表示)  
※カレントレイヤの表示状態は変更できません。



③ [OK]ボタンをクリックします。

※ または、レイヤのプルダウンから表示・非表示を切替るレイヤの<表示>ボタンをクリックします。  
(💡 は表示、💡 は非表示)

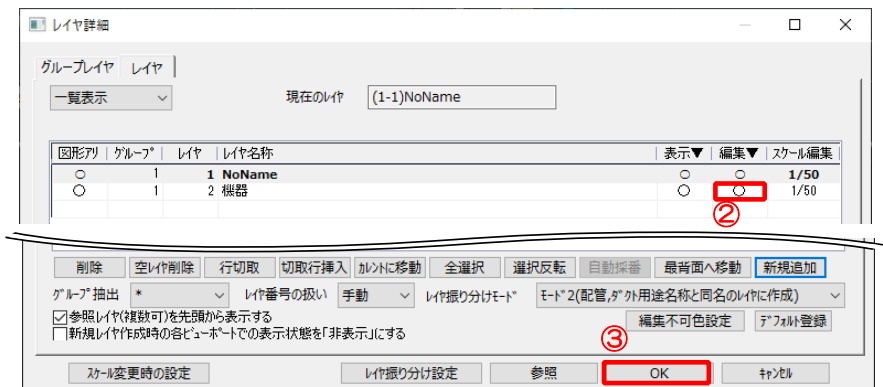


## ● 編集可、編集不可の切替え方法 ●



① 「詳細」ボタンをクリックします。

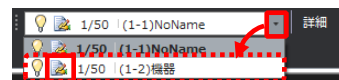


② 編集可・不可を切替るレイヤの「編集」欄をクリックします。  
(○は編集可、×は編集不可)  
※カレントレイヤの編集状態は変更できません。



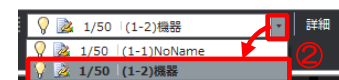
③ [OK]ボタンをクリックします。

※ または、レイヤのプルダウンから編集可・不可を切替るレイヤの「編集」ボタンをクリックします。(  は編集可、 は編集不可)



## ● レイヤ間の移動方法 ●

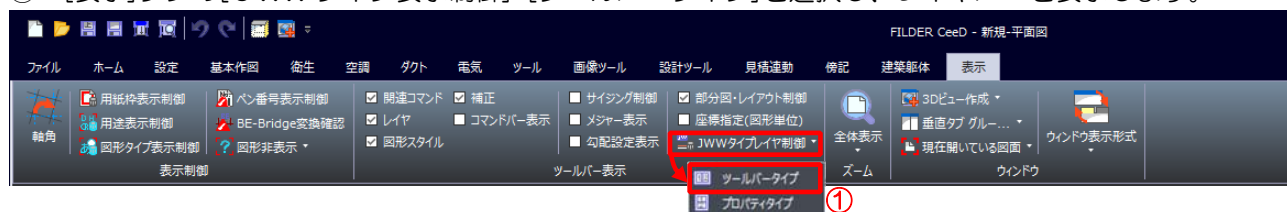
- ① コマンドキャンセルの状態、レイヤを移動する図形をクリックします。
- ② レイヤのプルダウンから移動先のレイヤを選択します。
- ③ 右クリックしてショートカットから「ピックキャンセル」を選択します。



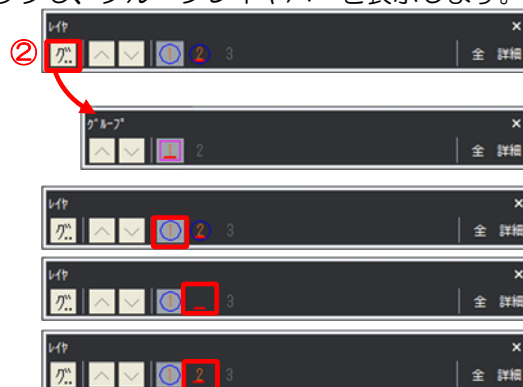
## ● JWW タイプレイヤ制御 ●

JWW タイプレイヤ制御を利用して、カレントレイヤの切替え、表示非表示の切替えをします。

- ① [表示]タブの[JWW タイプ表示制御]-[ツールバータイプ]を選択し、レイヤバーを表示します。



- ② レイヤバーの「グループコントロール拡張」ボタンをクリックし、グループレイヤバーを表示します。



番号上で左クリックすると、カレントレイヤとなります。

番号上で右クリックすると、非表示となります。

さらに番号上で右クリックすると、編集不可となります。

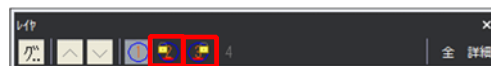
## ● レイヤのロック ●

レイヤのロックは、レイヤの設定状態を変更不可にします。

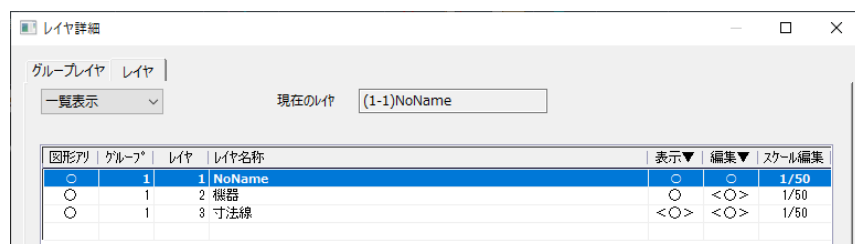
左側にカギのマークがある場合は、編集の状態を変更不可にします。

右側にカギのマークがある場合は、編集と表示の状態を変更不可にします。

番号上にカーソルを移動し、[Ctrl]キーを押しながら右クリックで編集のロック、[Shift]キー+ [Ctrl]キーを押しながら右クリックで編集と表示のロック状態を変更します。マウスホイールを押すことでロック状態を変更することも可能です。



レイヤ詳細ダイアログでは「表示」または「編集」の欄に「<>」の表示が入ります。



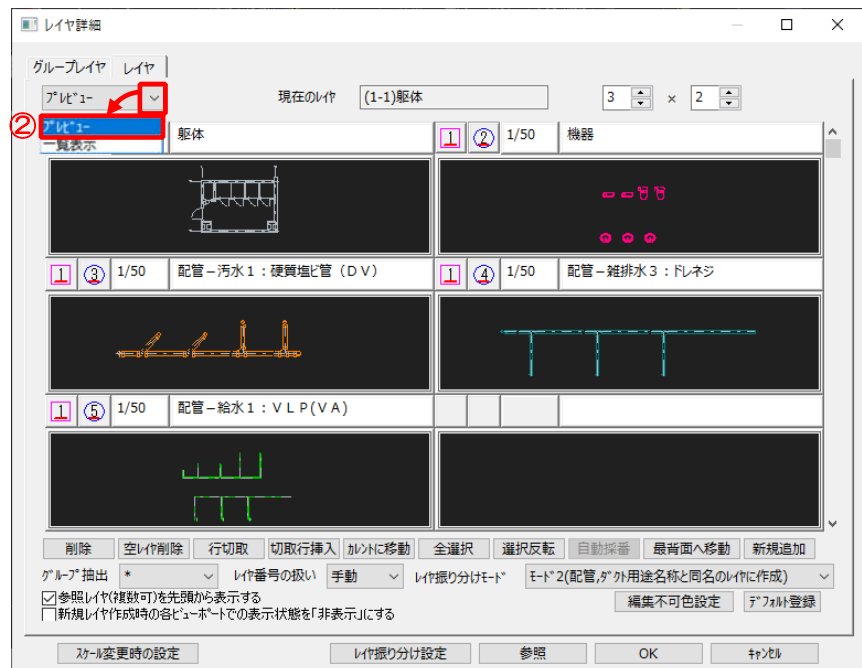
## ● プレビュー表示 ●

レイヤ詳細ダイアログで、レイヤごとに作図されている内容をプレビュー表示で確認できます。

① 「詳細」ボタンをクリックします。



② プルダウンから「プレビュー」をクリックします。



③ プレビュー表示が見えにくい場合は、レイヤ欄にカーソルを移動し、マウスホイールを回転すると拡大縮小表示が可能です。

## ● レイヤ振り分けモード ●

図形を作図するときに、レイヤに振り分ける設定を3つの中から選択します。

「モード1（カレントのレイヤに作成する）」カレントレイヤ（現在のレイヤ）に作図します。  
カレントレイヤを切替えながら作図します。

「モード2（配管、ダクト用途名称と同名のレイヤに作成）」  
配管、ダクトを作図する場合、用途名称と同じ名称のレイヤが自動的に作成され、そのレイヤに自動的に作図します。  
基本図形はカレントレイヤ（現在のレイヤ）に作図します。  
配管、ダクトを作図する場合は、カレントレイヤを切替える必要はありません。

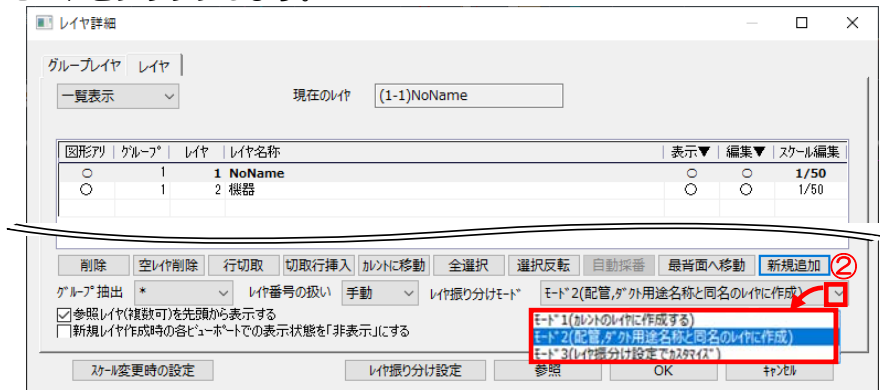
「モード3（レイヤ振り分け設定でカスタマイズ）」  
[レイヤ振り分け設定]ダイアログの内容にしたがって、図形は各レイヤに振り分けて作図します。  
用途名称以外もレイヤが自動的に作成され、そのレイヤに自動的に作図します。



- ① [詳細]ボタンをクリックします。



- ② 「レイヤ振り分けモード」からモードをクリックします。

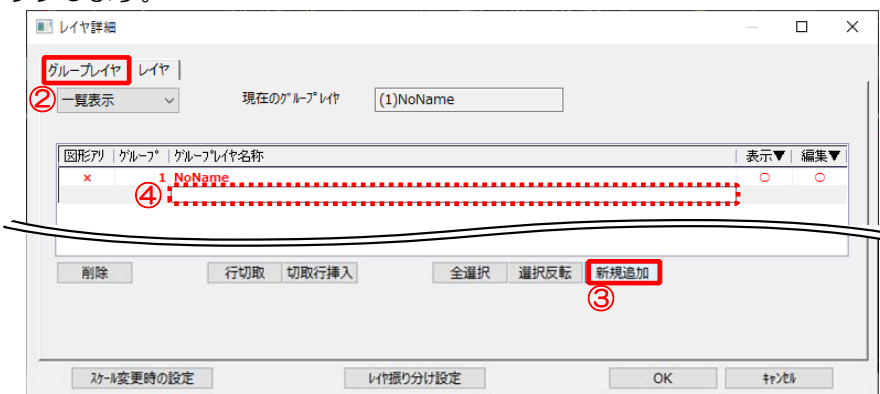


## ● グループレイヤの作成方法 ●

- ① [詳細]ボタンをクリックします。



- ② 「グループレイヤ」タブをクリックします。

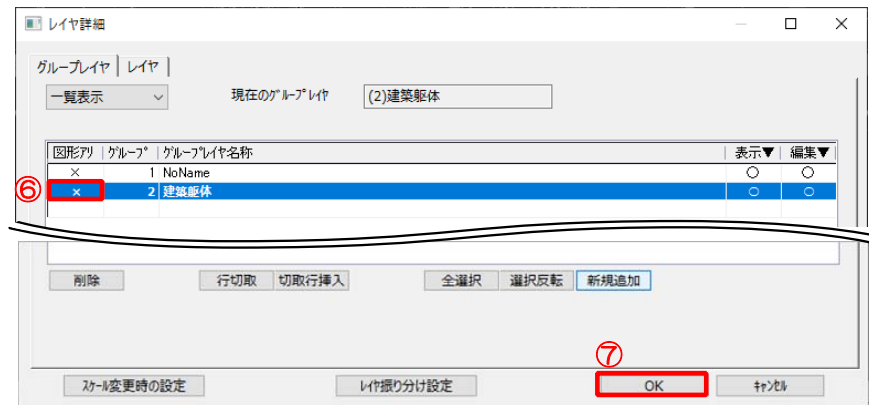


- ③ [新規追加]ボタンをクリックします。  
④ グループレイヤ名称をキー入力します。  
⑤ 確認ダイアログの[はい]ボタンをクリックします。



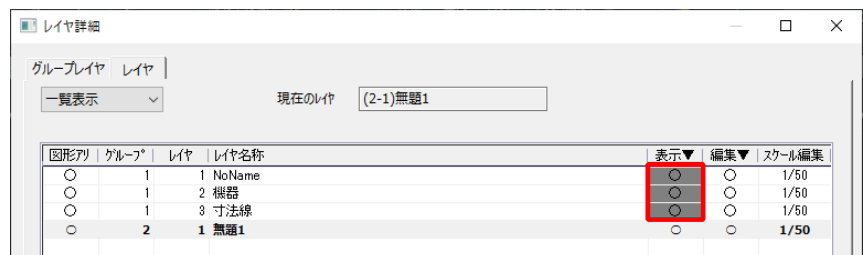


⑥ カレントにするグループレイヤの「図形アリ」欄をクリックします。



⑦ [OK]ボタンをクリックします。

※ グループレイヤを非表示、または編集不可とした場合は、「レイヤ」タブの表示、または編集欄がグレー表示となります。



## ● 他 CAD からの取込み、書出しについての注意点 ●

### ※ JWW、JWC

JW-CAD はレイヤ番号、グループレイヤ番号ともに「0」から始まりますが、FILDER CeeD は「1」から始まります。JWW、JWC ファイルを取込んだ場合は「+1」された番号になり、書出した場合は「-1」された番号になります。

JW-CAD は 16 グループレイヤで、1 グループレイヤ内に 16 レイヤ存在します。16 以上のグループレイヤ、レイヤは 16 以内の空いているグループレイヤ、レイヤへ移動して書出されます。

また、同一グループ内に異スケールのレイヤが存在しないように、グループレイヤを移動して書き出されます。

空いているグループレイヤ、レイヤが存在しない場合は、16 番の F グループレイヤ、F レイヤにまとめて書き出されます。

### ※ DWG、DXF

AutoCAD にはレイヤ番号という考えがありません。DWG、DXF ファイルに書出した場合は、グループレイヤ番号、レイヤ番号が無くなり、名称のみになります。その時、必ず「0」という名称のレイヤが作成されます。

### ※ SXF

SXF ファイルにはレイヤ番号という考えがありません。SXF ファイルに書出した場合は、グループレイヤ番号、レイヤ番号が無くなり、名称のみになります。

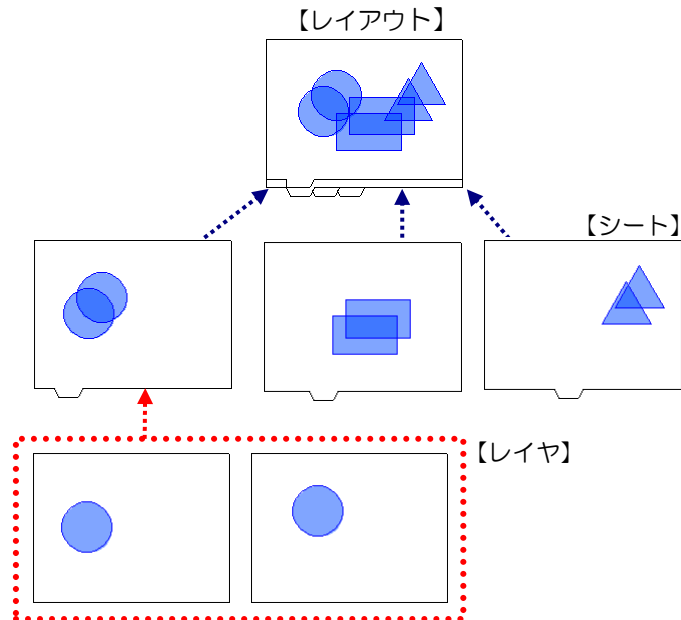
## シート

### ● シートとは ●

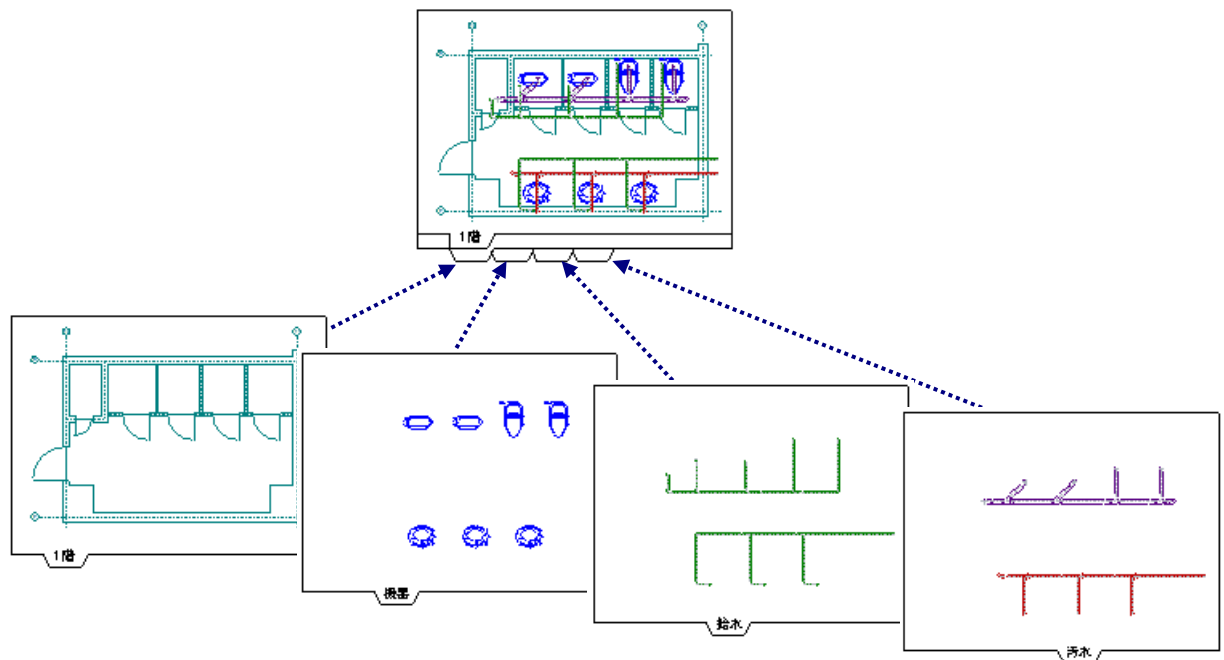
レイヤのようにそれぞれのシートに図形を配置して、シートごとの表示・非表示や編集可・編集不可の制御ができます。

一つのレイアウトに複数のシートを分けて操作します。

シートを更に細かく制御したい場合は、シート内でレイヤを分けて操作することも可能です。

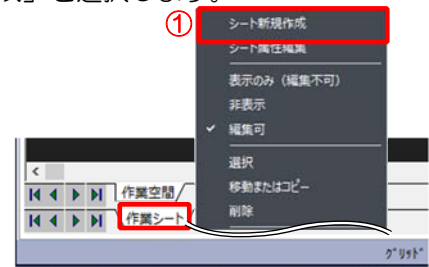


例えば、「1階」のレイアウトに、「建築躯体」のシート、「機器」のシート、「給水配管」のシート、「汚水配管」のシートとします。これをすべて重ねて表示しているのが、今の画面です。



## ● シートの作成方法 ●

- ① シートタブ上で右クリックしてショートカットから「シート新規作成」を選択します。



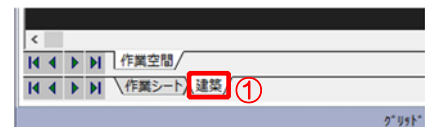
- ② シートの名称、作図スケールを設定します。  
③ [OK]ボタンをクリックします。



## ● カレントの切替え方法 ●

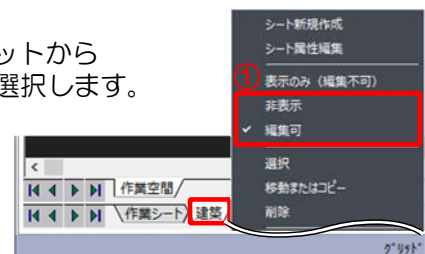
FILDER CeeD では書込みシートを“カレントシート”と呼びます。

- ① カレントにするシートタブをクリックします。

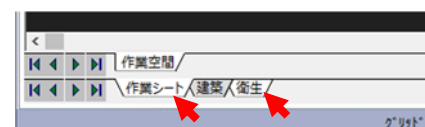


## ● 表示、非表示の切替え方法 ●

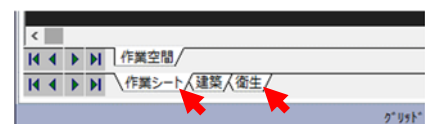
- ① 表示・非表示を切替えるシートタブ上で右クリックしてショートカットから非表示にする場合は「非表示」を、表示にする場合は「編集可」を選択します。



※ [Ctrl]キーを押しながらシートタブをクリックすると、シートの複数選択が可能です。

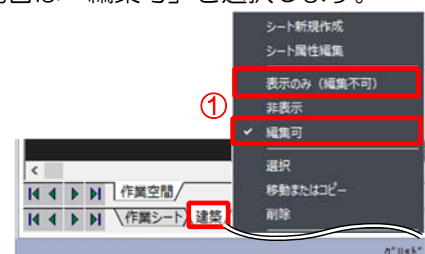


※ [Shift]キーを押しながらシートタブをクリックすると、シートの範囲選択が可能です。



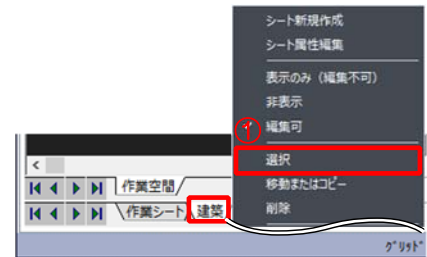
## ● 編集可、編集不可の切替え方法 ●

- ① 編集可・編集不可を切替えるシートタブ上で右クリックしてショートカットから編集不可にする場合は「表示のみ (編集不可)」を、編集可にする場合は「編集可」を選択します。



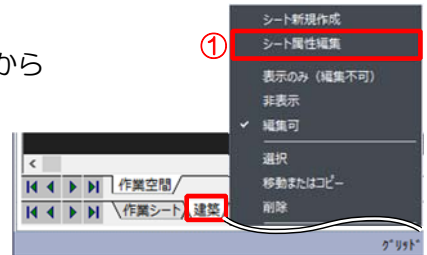
## ● シートの選択方法 ●

- ① シート内の全ての図形を選択するシートタブ上で右クリックしてショートカットから「選択」を選択します。

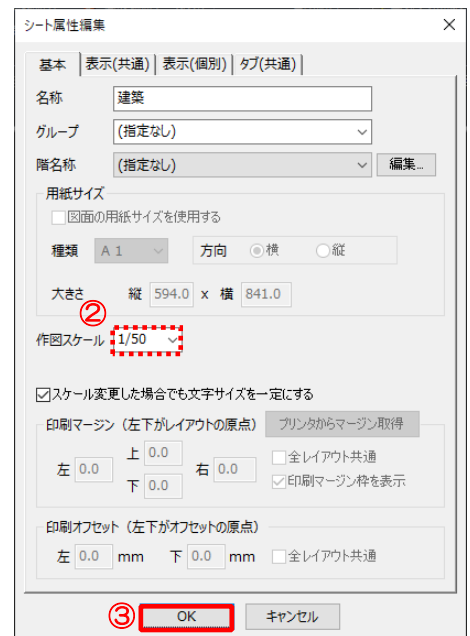


## ● スケールの変更方法 ●

- ① スケールを変更するシートタブ上で右クリックしてショートカットから「シート属性編集」を選択します。



- ② 変更後のスケールをキー入力します。
- ③ [OK]ボタンをクリックします。

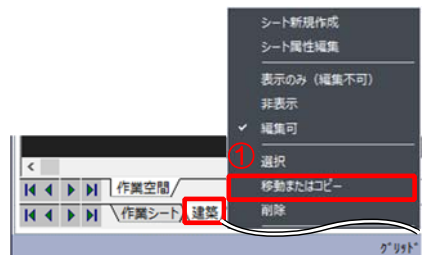


## ● 移動・コピー方法 ●

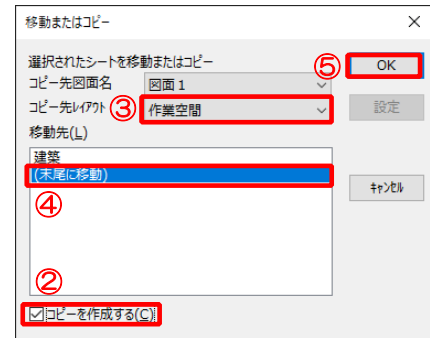
シートに作成した図形のシート間の移動、コピーはファイル間コピーと同様の操作となります。

同じファイル内でシート全体の移動、コピーをする場合は、

- ① シートタブ上で右クリックしてショートカットから「移動またはコピー」を選択します。

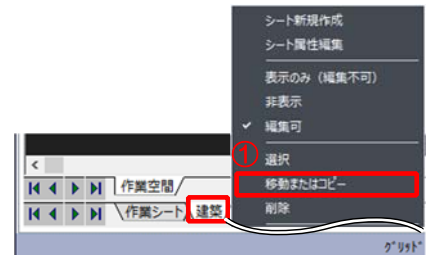


- ② コピーの場合は「コピーを作成する」にチェックを入れます。
- ③ 「コピー先レイアウト」からレイアウト名を選択します。
- ④ 移動・コピー先のシートを指示します。
- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。

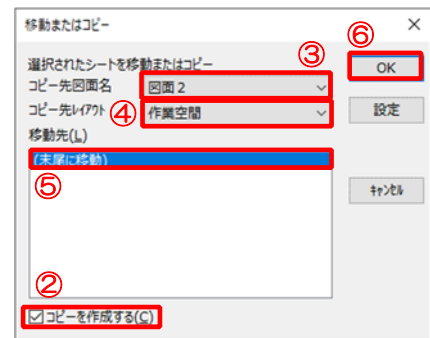


別のファイルにシート全体のコピーをする場合は、

- ① シートタブ上で右クリックしてショートカットから「移動またはコピー」を選択します。



- ② 「コピーを作成する」にチェックを入れます。
- ③ 「コピー先図面名」からファイル名を選択します。  
このリストには、現在開いているファイルの名称が表示されます。
- ④ 「コピー先レイアウト」からレイアウト名を選択します。
- ⑤ コピー先のシートを指示します。
- ⑥ [OK]ボタンをクリックします。



## ● シート間の移動方法 ●

- ① コマンドキャンセルの状態では、シートを移動したい図形を選択します。
- ② シートのプルダウンから移動先のシートを選択します。



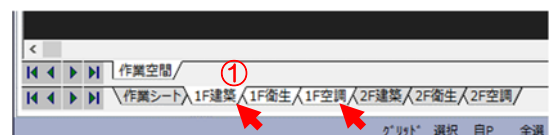
## ● シートのグループ登録 ●

複数シートをグループとして登録できます。

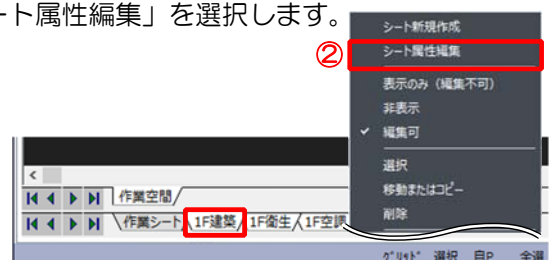
グループ登録したシートはひとつにまとめて表示し、一括で属性編集や表示非表示の切替えが可能です。

- ① グループ登録したいシートを選択します。

- ※ [Ctrl]キーを押しながらシートタブをクリックすると、シートの複数選択が可能です。
- ※ [Shift]キーを押しながらシートタブをクリックすると、シートの範囲選択が可能です。

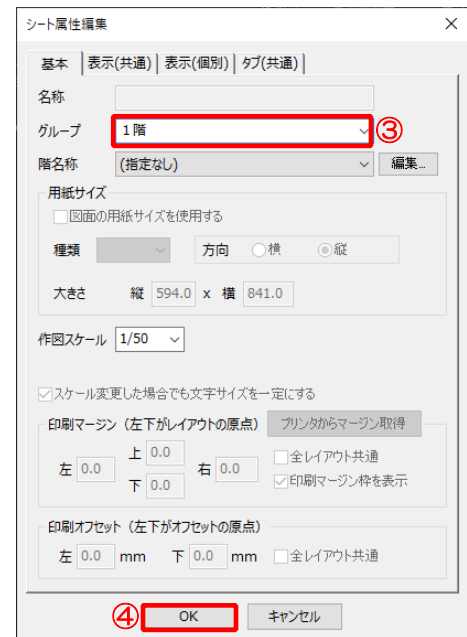


- ② シートタブ上で右クリックしてショートカットから「シート属性編集」を選択します。



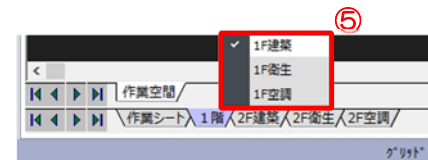
③ 「グループ」にグループ名をキー入力します。

※ すでにあるグループに追加する場合は、「グループ」のプルダウンからグループ名を選択します。



④ [OK]ボタンをクリックします。

⑤ グループシートタブをクリックし、グループ内のシート名からカレントシートを選択できます。



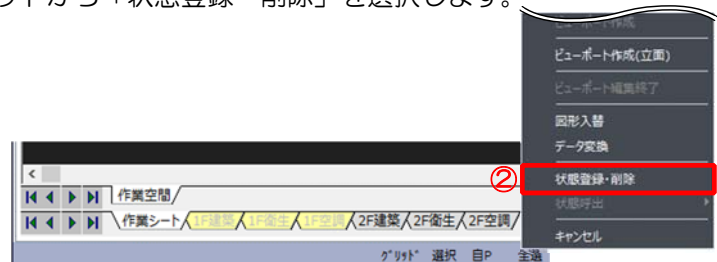
## ● シートの表示状態登録、呼出 ●

シートの表示・非表示・編集可の状態を登録し、一括で変更できます。

① シートタブ上で右クリックしてショートカットから「表示のみ（編集不可）」「非表示」「編集可」を選択し、登録したい表示状態に設定します。



② シートタブ上で右クリックしてショートカットから「状態登録・削除」を選択します。



- ③ 「シートセット登録名」にシートセットの名称をキー入力します。

[illegible]

- ④ [登録]ボタンをクリックします。
- ⑤ 「現在の表示状態で登録する」にチェックを入れます。
- ⑥ [OK]ボタンをクリックします。

表示状態の登録

☐ 全て「非表示」で登録する。

☒ 現在の表示状態で登録する。

※ 設定は後で変更できます。

OK

- ⑦ [OK]ボタンをクリックします。

シートセット登録名: 2階見上げ

登録

図面 1

- 2階見上げ
  - 表示○・編集○
  - 表示○・編集×
  - 表示×・編集×

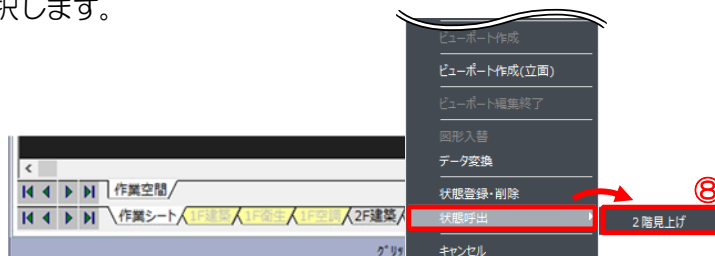
名称	レイアウト	グループ	階名称	基準高さ	表示状態	編集状態
作業シート	作業空間				○	○
1F建築	作業空間				○	×
1F衛生	作業空間				○	×
1F空調	作業空間				○	×
2F建築	作業空間				○	○
2F衛生	作業空間				○	○
2F空調	作業空間				○	○

右エリアのシートを選択(複数可)し、ドラッグ＆ドロップで左のエリアの最下層のフォルダに移動すると「表示状態」、「編集状態」が変更されます。

⑦

シートセット削除 | 表示状態変更 | 編集状態変更 | OK | キャンセル

- ⑧ 登録したシートセットの表示状態にしたい場合は、シートタブ上で右クリックしてショートカットから「状態呼出」内のシートセット登録名を選択します。



● シート内のレイヤの扱い ●

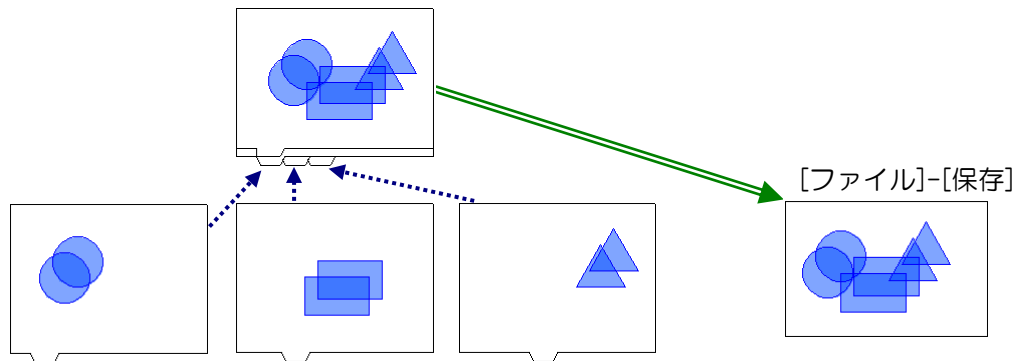
作業シートでのレイヤの操作は、通常のレイヤと同様の操作となります。  
作業シート以外のシートでは、レイヤのスケールは無視され、シートの作図スケールが有効になります。  
(レイヤ詳細のダイアログには、スケール編集の欄が表示されません。)



## ● 他CADからの取込み、書出しについての注意点 ●

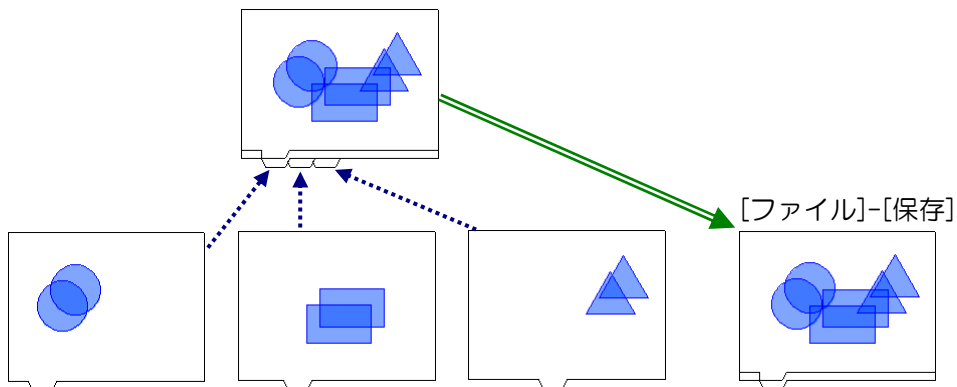
### ※ JWW、JWC

複数シートが存在する場合は、図形が一つのシートにまとめて保存されます。



### ※ DWG、DXF

1つのレイアウトに複数シートが存在する場合は、図形が1つのシートにまとめて保存されます。



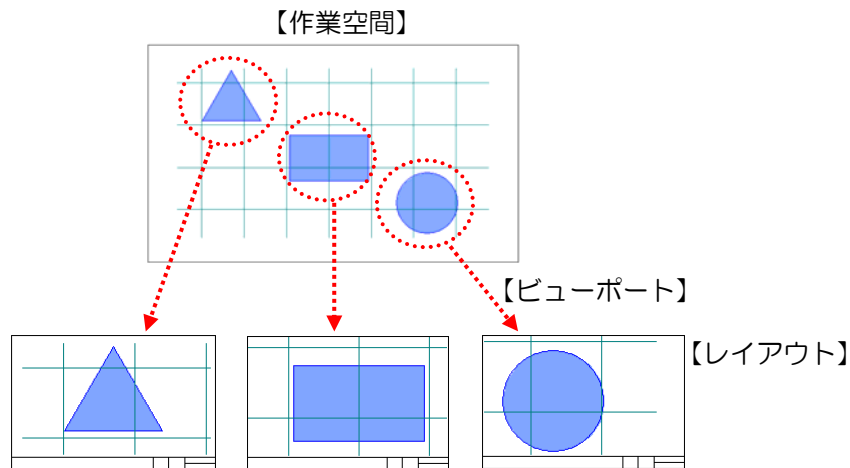
### ※ SXF

SXF ファイルをシートとして取込むには、SXF ファイルを取込む前に「SXF 設定」で設定が必要です。  
取込み後にシートに変換することはできません。

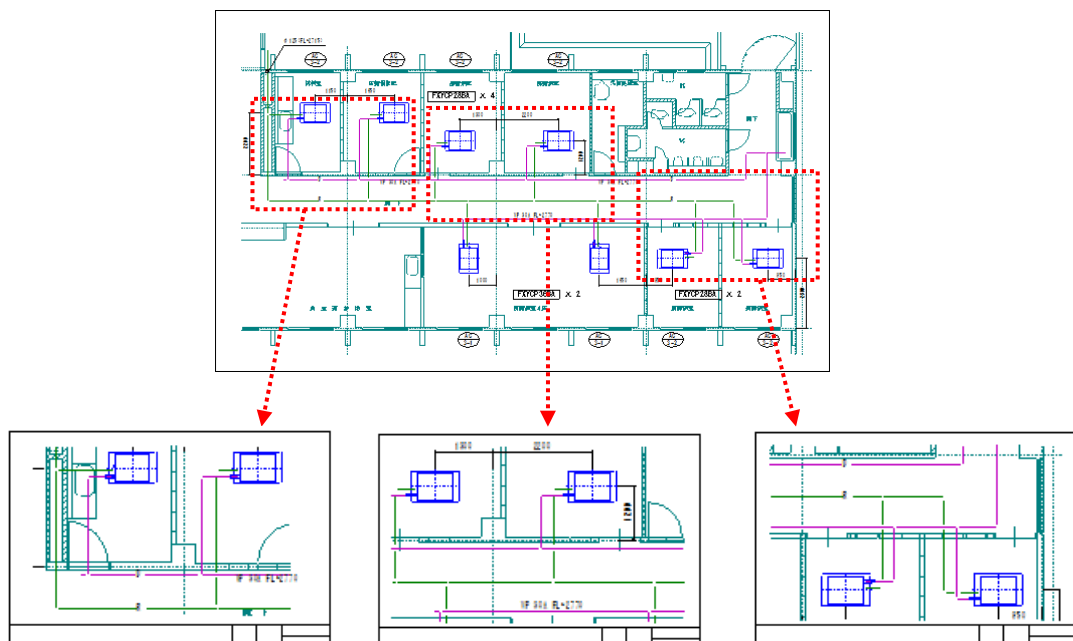
## レイアウト

### ● レイアウトとは ●

1つのファイルには作業空間とレイアウトの2つの空間があります。  
作業空間は図面全体（建物全体または設備全体）を作成する空間です。レイアウトは作業空間で作成した図面をビューポートで抜き出して、バランスよく配置し、一枚の図面として完成させる空間とってください。  
ビューポートとは、作業空間の一部を抜き出すための窓です。

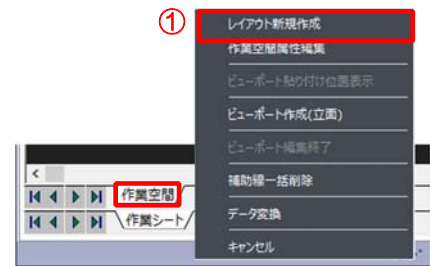


例えば、2階部分全体を作業空間に作成し、一部の通り芯間を抜き出して1枚の図面とします。



## ● レイアウトの作成方法 ●

- ① 作業空間タブ上で右クリックしてショートカットから「レイアウト新規作成」を選択します。

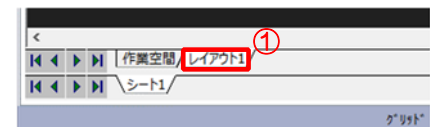


- ② レイアウトの名称、用紙サイズ、作図スケールを設定します。  
※ レイアウト上に作図する図形は、この作図スケールが有効になります。
- ③ [OK]ボタンをクリックします。

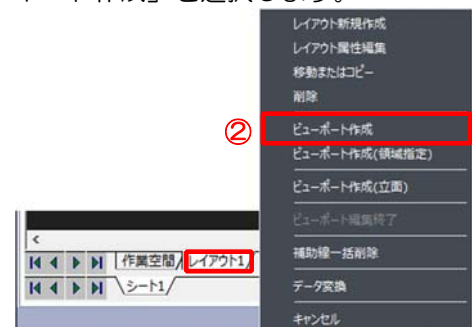


## ● ビューポートの作成方法 ●

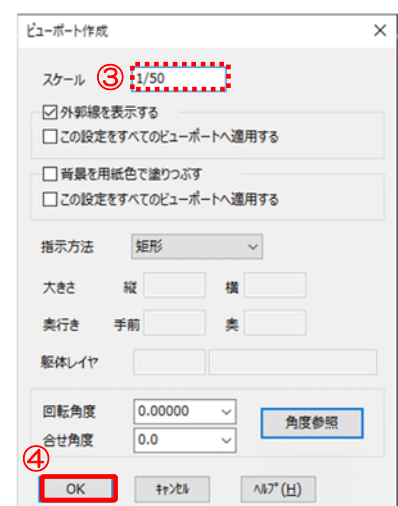
- ① レイアウトタブをクリックします。



- ② レイアウトタブ上で右クリックしてショートカットから「ビューポート作成」を選択します。



- ③ ビューポートのスケールを設定します。
- ④ [OK]ボタンをクリックします。

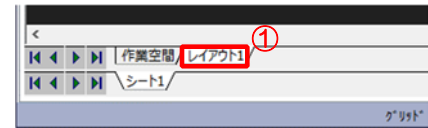


- ⑤ ビューポートの大きさ・形を指示します。(矩形の場合は、対角の2点をクリックします。)
- ⑥ ビューポートの配置位置をクリックします。

## ● カレントの切替え方法 ●

FILDER CeeD では書き込みレイアウトを“カレントレイアウト”と呼びます。

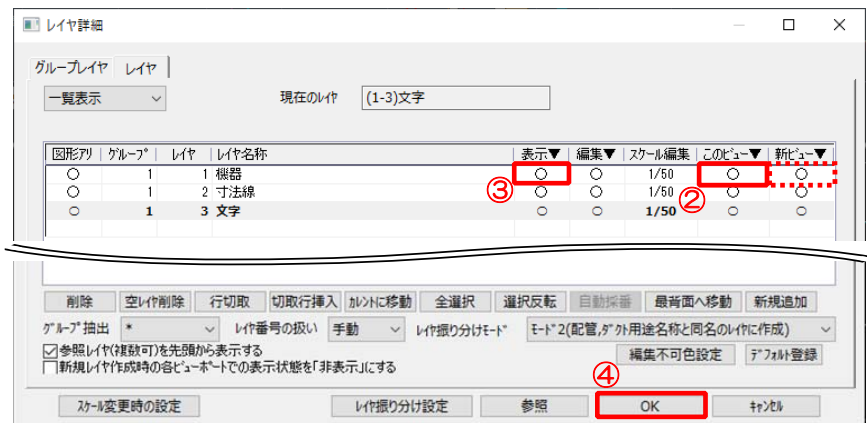
- ① カレントにするレイアウトタブをクリックします。



## ● 表示、非表示の切替え方法 ●

ビューポート内のレイヤの表示・非表示を切替えます。

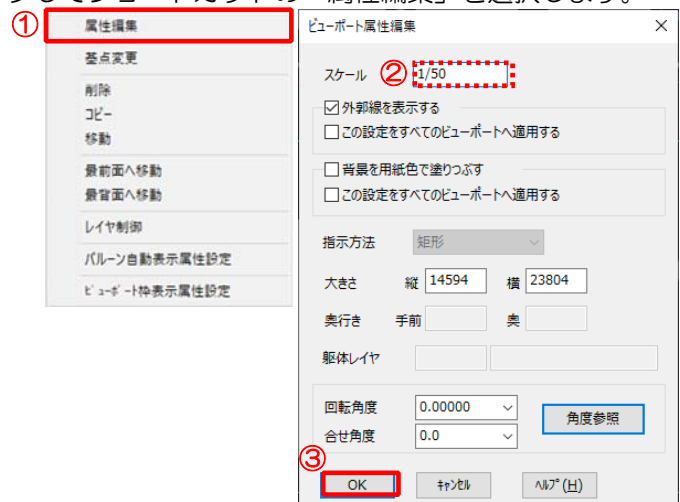
- ① レイヤの表示・非表示を切替えるビューポート上で右クリックしてショートカットから「レイヤ制御」を選択します。
- ② このビューポートのみで表示状態を変更する場合は、表示・非表示を切替えるレイヤの「このビュー」欄をクリックします。  
新しく作るビューポートで表示状態を変更する場合は、表示・非表示を切替えるレイヤの「新ビュー」欄をクリックします。  
※ カレントレイヤの表示状態は変更できません。



- ③ 作業空間上で表示状態を変更する（全てのビューポートに反映する）場合は、表示・非表示を切替えるレイヤの「表示」欄をクリックします。  
※ カレントレイヤの表示状態は変更できません。
- ④ [OK]ボタンをクリックします。

## ● スケールの変更方法 ●

- ① スケールを変更するビューポート上で右クリックしてショートカットの「属性編集」を選択します。
- ② 変更後のスケールをキー入力します。
- ③ [OK]ボタンをクリックします。

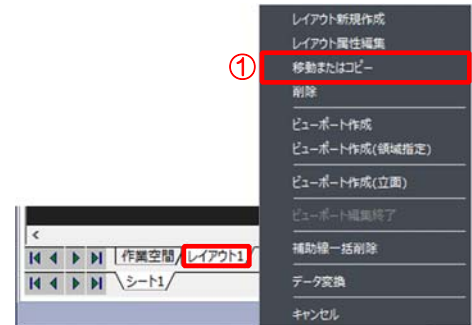


## ● 移動・コピー方法 ●

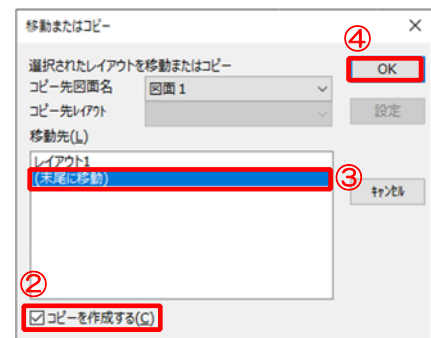
レイアウトに作成した図形のレイアウト間の移動、コピーはファイル間コピーと同様の操作となります。

同じファイル内でレイアウト全体の移動、コピーをする場合は、

① レイアウトタブ上で右クリックしてショートカットから「移動またはコピー」を選択します。

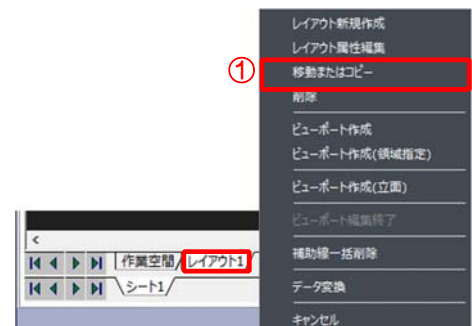


- ② コピーの場合は「コピーを作成する」にチェックを入れます。
- ③ 移動・コピー先のレイアウトを指示します。
- ④ [OK]ボタンをクリックします。

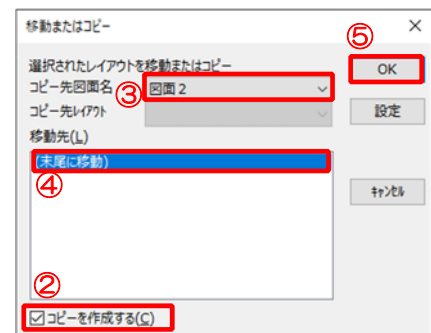


別のファイルにレイアウト全体のコピーをする場合は、

① レイアウトタブ上で右クリックしてショートカットから「移動またはコピー」を選択します。



- ② 「コピーを作成する」にチェックを入れます。
- ③ 「コピー先図面名」からファイル名を選択します。  
このリストには、現在開いているファイルの名称が表示されます。
- ④ 移動・コピー先のレイアウトを指示します。
- ⑤ [OK]ボタンをクリックします。



※ 別のファイルにレイアウトをコピーしても、ビューポートの枠はコピーされますが、ビューポート内の図形（モデル空間の図形）は、コピーされません。

## ● 他CADからの取込み、書出しについての注意点 ●

### ※ JWW、JWC

JW-CAD にはレイアウトという考えがありません。レイアウトを作成したファイルを JWW、JWC ファイルに書出した場合、レイアウトは無くなります。

レイアウトタブの上で右クリックしてショートカットから「データ変換」を選択し、レイアウトごとに出してください。その時、作業空間のスケールで書出されるので、ビューポートのスケールと作業空間のスケールを統一してください。

### ※ DWG、DXF

ファイルの種類から「DWG ファイル(\*.dwg)」「DXF ファイル(\*.dxf)」のバージョン「2007」以下を選択すると、レイアウトが書出されません。

他の CAD で作成した DWG、DXF ファイルを開いた時に、「Model」空間（FILDER CeeD での作業空間）が2つ存在する場合があります。Model 空間が2つ存在すると、DWG、DXF ファイルで書出すことができません。

DWG、DXF ファイルを開く前に、「DWG・DXF 設定」で取込み空間を設定します。

### ※ SXF

レイアウトを作成したファイルを SXF ファイルに書出した場合、レイアウトは無くなります。

レイアウトタブの上で右クリックしてショートカットから「データ変換」を選択し、レイアウトごとに出してください。その時、作業空間のスケールで書出されるので、ビューポートのスケールと作業空間のスケールを統一してください。